

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 : *Clostridioides difficile*(デオフィシル菌) 検出のための新規選択培地の有用性の評価』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 臨床検査部 職位・氏名 主任 伊藤 志昂

【研究の目的】

東邦大学医療センター大橋病院臨床検査部では、抗菌薬使用に伴う下痢症の原因となるデオフィシル菌の早期検出を目的として本研究を計画しました。デオフィシル菌はアルコールに耐性を持つ細菌としても知られており、院内感染の原因となりうるため、早期検出および感染対策が重要です。

この研究で得られる成果は、耐性菌治療に関連する感染症診断と蔓延防止に向けての抗菌薬適正使用につながります。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大橋病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者:2018年1月～2022年7月までに東邦大学医療センター大橋病院において、微生物検査を受けた患者さんを対象として、検査終了後の便検体を解析します。(対象人数:200名程) 検体はすでに取得済みの保存されたものを使用します。本研究は(株)関東化学との共同研究です。

【研究に用いられる試料・情報】

試料:微生物検査に提出された便検体

情報:使用せず

【研究組織】

・代表施設名: 東邦大学医療センター大橋病院 臨床検査部

研究代表者: 伊藤 志昂 役職: 主任 役割: データ解析・研究総括

【個人情報について】

研究に利用する検体は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。代諾者の方による請求も受付いたします。その場合でも、患者様に不利益になることは一切ありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 臨床検査部

職位・氏名 主任 伊藤志昂

電話 03-3468-1251 内線 3406